



## 『小さく分けて考える』

「悩む時間」と「無駄な頑張り」を80%減らす分解思考

菅原健一  
SBクリエイティブ(株)  
(2022/12)

経営者であり、企業の10倍成長のためのアドバイザーでもある筆者の思考分解術が、フローチャートや図式で分かりやすくまとめられています！

## 【感想】

「目標売上に達成しないから、売上を2倍に伸ばしてほしい、伸ばしたい」や、「なんだか物足りない気がするの、商品のクオリティーを上げてほしい」という要望に対して、営業する人数を無理に増やしたり、商品の単価を上げてみたり、商品の品質を高くするために、無謀な企画を提案したりと、目の前の課題に対して、無意識に「ひたすらに頑張ること」をしていませんか？

本書では、一見深く悩んでしまうような課題に対して、課題を細かく分解して、課題の本質を見出し、解決策を考えることができる『分解思考』について、解説しています。仕事ができる方は、特に「解像度が高い」と言われるような人は、分解の精度が高く、だからこそ、適切な方法を選び、効率的に高い成果を出しています。

また、分解思考が出来るようになると、仕事の目標も然り、個人的な目標を達成することが可能となりますので、よい達成習慣を身につけたい方にオススメの一冊です。

## 【以下引用】

## 上手に分解するための6つのポイント

## 1. かけ算で分解する

→数字で目標を数値化して、曖昧な基準を要素分解していく。

## 2. 一つ上に戻って、全体像を考える

## 3. 細かく分けすぎない

→全体で見ると何%になるのかを分解した上で、効果が大きいものから手につける。

## 4. アイデアを出したい時、抜け漏れをなくしたい時は「反対」をとる

## 5. あえて大きく捉える

→企業や商品の価値を捉えなおして高めていく活動は、今後の時代に非常に重要

## 6. 自分の気持ちは分けておく

→人はサンクコスト(回収できない費用)の影響で、しばしば誤った判断をしてしまう

正しく分解して最も効果の高いことをやる、効果のないものは見切りとつけて、早めにやめるクセをつけることが重要です。

・大きな目的を達成しようとするとき、何か新たなことを始めようとする会社も多いですが、なんでもかんでも新しく取り入れて頑張るのではなく、今行っていることの中から阻害する要因を取り除く。その方が無理せずうまくいくことも多いのです。

仕事を始めたばかりの若い方には、とても大切な話です。新人研修に使用しても、面白いのではないのでしょうか。良い達成習慣を身につけるためにも、是非手に取ってほしい一冊です。